

ディストピア禍の 新・幸福論(の一部)

慶應義塾大学
前野 隆司

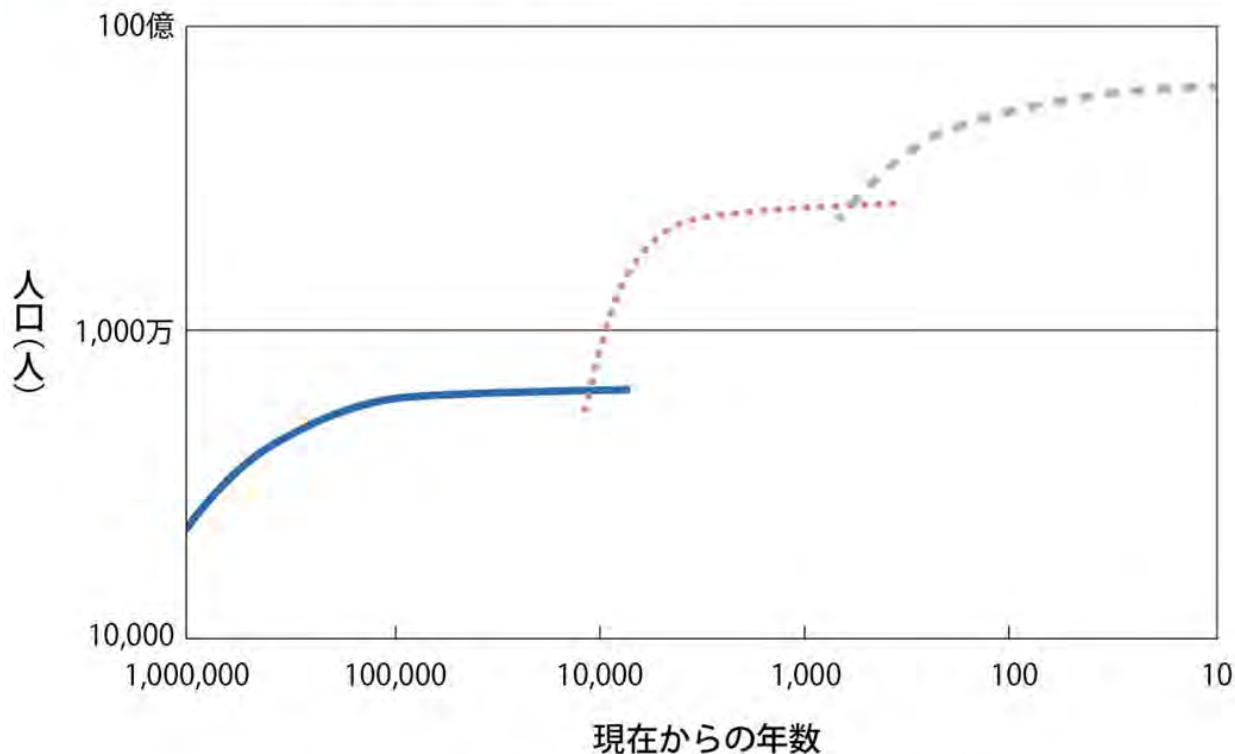




前野 隆司 TAKASHI MAENO



■ 世界人口の超長期推移 (ディーヴェイの仮説的図式)



東洋経済オンライン
2020.1.27

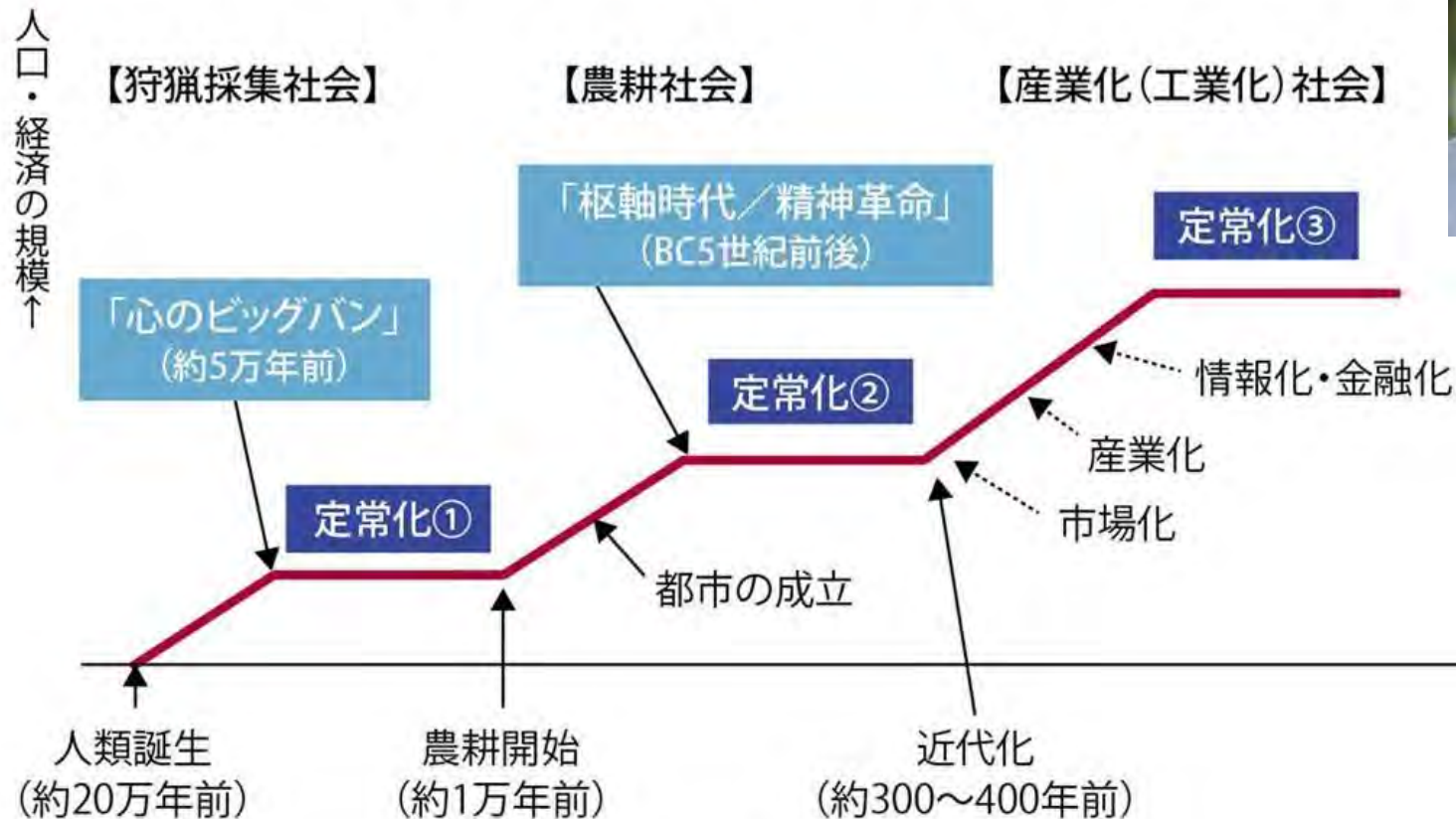
「グretaさん」は現代の
「イエスカブダ」なのか

「人類史の移行期」に
生まれる価値観と倫理

広井良典

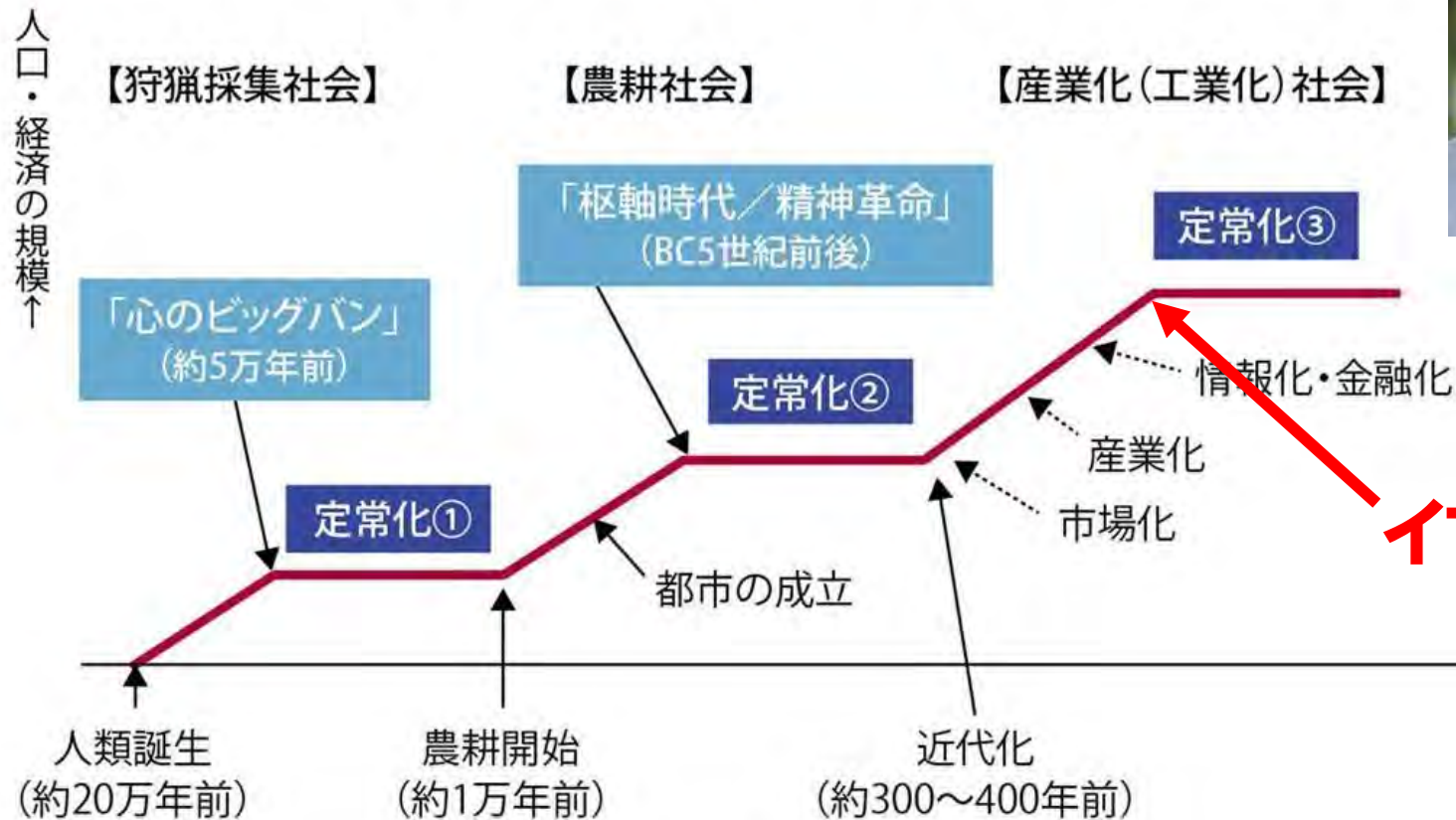
(出所) Cohen, Joel E. (1995), How Many People can the Earth Support?, W.W.Norton&Company

■人類史における拡大・成長と定常化のサイクル



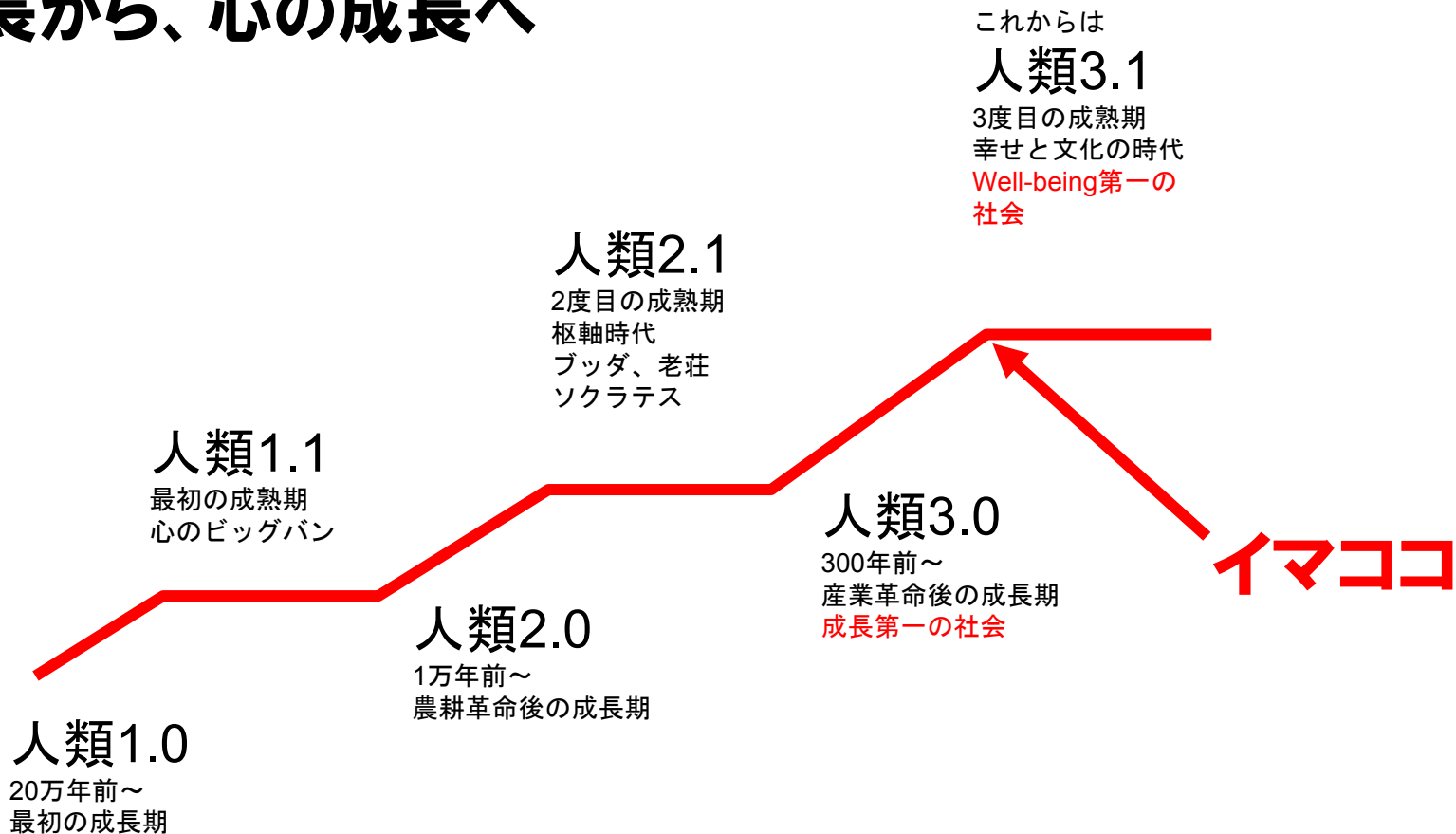
広井良典

■人類史における拡大・成長と定常化のサイクル



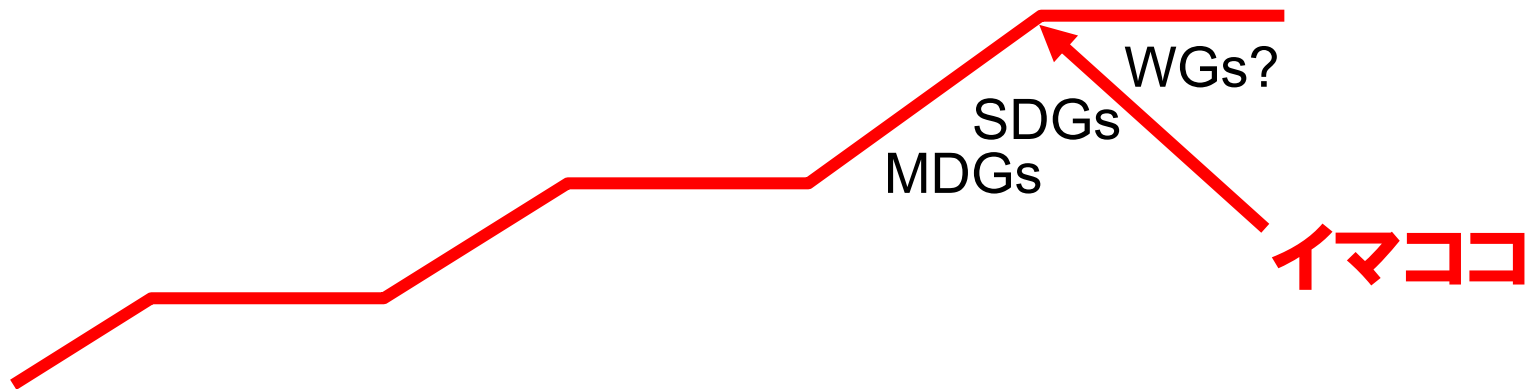
広井良典

経済成長から、心の成長へ



経済成長から、心の成長へ

これからは
人類3.1
3度目の成熟期
幸せと文化の時代
Well-being第一の
社会



経済成長から、心の成長へ

- **ウェルビーイング産業の進展(健康産業のように幸せ産業が進展)**
- **経済成長から心の成長(文化・芸術・感性・創造性・〇〇道・クールジャパン)に価値シフト**
- **美しい心、美しい社会の時代へ**
- **ルネサンスのように、1.1、2.1に学ぶ動きも**

これからは

人類3.1

3度目の成熟期
幸せと文化の時代
Well-being第一の
社会

SDGs
MDGs

WGs?

イマココ

経済成長から、心の成長へ

アミニズム
ネイティブアメリカン
アイヌ、メラネシア
神道
(原始宗教)

人類1.1
最初の成熟期
心のビッグバン

狩猟採集社会
ティール型社会？

農耕社会
グリーン型社会？

産業化(工業化)社会
レッド・アンバー型社会？

仏教、老荘思想
ヒンドゥー教
キリスト教
イスラム教
(高等宗教)

人類2.1
2度目の成熟期
枢軸時代
ブッダ、老荘
ソクラテス

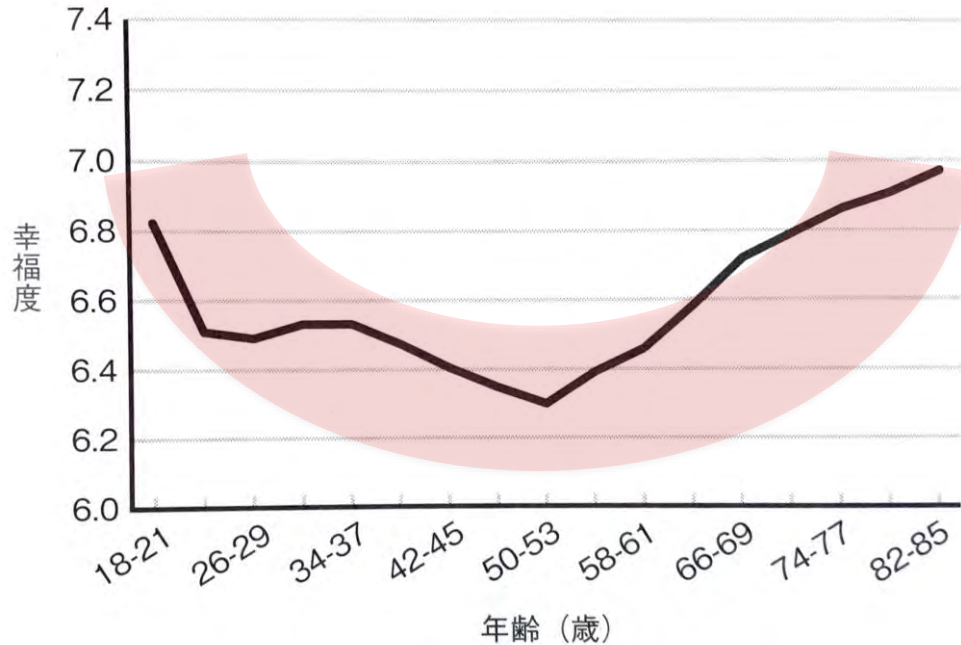
これからは
人類3.1
3度目の成熟期
幸せと文化の時代
Well-being第一の
社会

SDGs
MDGs

WGs?

イマココ

年齢と幸せの関係はUカーブ



年齢と幸せの関係はUカーブ

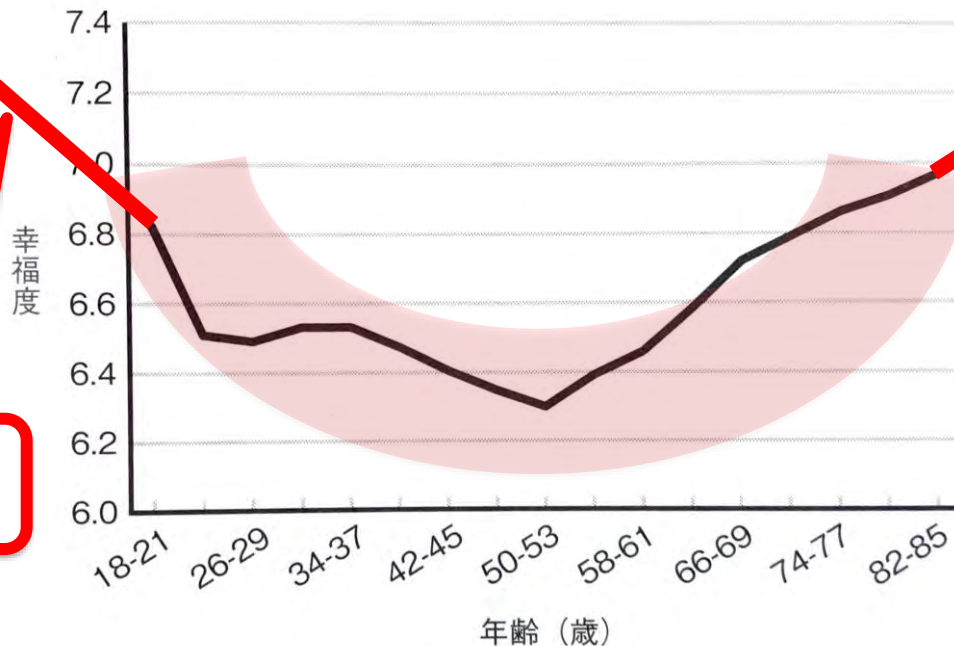
ラーシュトーンスタム
老年的超越

歳を重ねる幸福感の世界

富澤公子・タカハシマサミ [訳]



見澤 博 著



• 赤ちゃんは幸せ

- 自己中心性の減少
- 寛容性の高まり
- 死の恐怖の減少
- 空間・時間を超越する傾向
- 高い幸福感

私たちが20万年間、一緒に住んできた故郷、地球



すべての生きとし生けるものが幸せでありますように

「幸福学(well-being study)」の基礎

- 「**地位財**」型の幸せ＝長続きしない！
 - 地位財＝他人と比べられる財
 - 金、モノ、社会的地位 ……金銭欲、物欲、名誉欲の充足
- 「**非地位財**」型の幸せ＝長続きする！
 - 安全など、環境に基づくもの ……社会的に良好な状態
 - 健康など、身体に基づくもの ……身体的に良好な状態
 - 心的要因(幸せの4つの因子) ……精神的に良好な状態
 1. **自己実現と成長(やってみよう因子)、強み、主体性**
 2. **つながりと感謝(ありがとう因子)、利他、多様性**
 3. **前向きと楽観(なんとかなる因子)、チャレンジ精神**
 4. **独立と自分らしさ(ありのままに因子)、自分軸**



テール組織入門



色

赤

アンバー

オレンジ

グリーン

ティール

型

衝動型

順応型

達成型

多元型

進化型

色
型

赤

衝動型

アンバー

順応型

オレンジ

達成型

グリーン

多元型

ティール

進化型

成人発達理論

人の心は成長する

ロバート・キーガン
カート・フィッツシャー
ケン・ウィルバー

色

型

メタファ

赤

衝動型

狼の
群れ



自分第一

アンバー

順応型

軍隊



勝利第一

オレンジ

達成型

機械



利益第一

グリーン

多元型

家族



人間第一

ティール

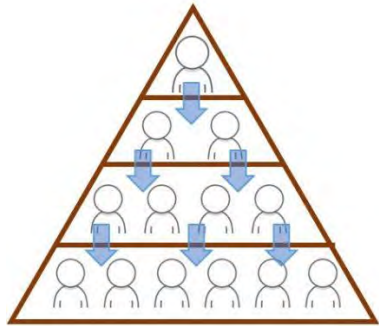
進化型

自然林



自然第一

地位財型 (非定常) 社会



勝ち残りゲーム式社会モデル
(極端な近・現代型システム)

競争的・個人主義的
トップダウン・ピラミッド型
牽引型リーダーシップ
自己主張(利己的になりがち)
統率によるつながり
単純・合理的・必要最小限
明確な目的・ミッション
単一の最適解を目指す
合理的な分担・計画・管理
論理重視
スピードの速い者が勝ち
短期的変化への対応が得意
長期的持続は苦手
想定外の事態にもろい
予定通りの成果を目指す
一面的な進歩・成長主義的
弱肉強食
敗者は退場
先の読める閉じた社会で有効
不幸な格差社会に陥りがち

前野隆司
『幸せの日本論』
より

全体が調和し共生する社会モデル
(理想的な日本型システム)

協力的・相互依存的
フラット・ネットワーク型
調和型リーダーシップ
謙虚で優しい(利他的)
想いによるつながり
多様・複雑・冗長・無駄
目の前の目的に囚われすぎない
多様な満足解があり得る
仮説を持たず色々やってみる
感性重視
ゆっくりと自分のペースで
短期的変化には一見対応困難
サステナブル(持続可能)
想定外の事態にもレジリエント
想定外の新展開が生じる
循環型社会が前提
すべてを活かし共存
すべてが意味を持つ
オープンで変化する社会で有効
幸福で平和な社会に向かう

非地位財型 (定常型) 社会

